

神田通信

●歌稿の締切は、毎月10日（本社必着）です。

●原稿用紙は200字詰めとし、本社作成のもの、またはこれに準ずるものとする。

●原稿用紙の注文・見本誌希望等は、阿藤たつるまで。

原稿用紙は一冊250円、それに送料がかかります（本誌「クリップ」参照）。見本誌は余ったバックナンバーで無料ですが、送料として210円分の切手を同封してお求めください。

960-0402 伊達市本町30 藤田方

阿藤たつる

TEL 024-563-2158

Eメール fujitams77@gmail.com

●会費は半年分が一年分を前納すること。令和7年度分を未納の方は、お忘れなく。

●入退会届は葉書で本社まで。編集作業は2ヶ月前に行われていますので、すぐに送本停止はできません。ご了承ください。

【地中海】

◆今年は秋が短い。残暑の後の一ヶ月半。もうすぐ年末だ。（これを書いているのは、十一月上旬です）

◆ラフカディオ・ハーン、理不尽な父により早く母と別離。悲しみを味わった分、人種をこえて女性へのやさしさがあったようだ。好感が持てる！（西堤）

◆五十年前のお西様（西の市）は、オーバーを着て行くような寒さだった。近年の温暖化を、つぶさに感じる。買った熊手を風呂敷に包んで帰る人の姿もめっきり減って。（磯田）

◆各地に熊の被害が広がって、共生できない社会がつからい。ブルーアートのボランティア活動で、可愛いくまモンやリラックマを作っているのにくまもんだ。（高尾）

◆町の本である銀杏並木が黄金に輝いている。かつての銘菓銀杏サブレはあっさり鎌倉に譲り、今は形も名前も提灯サブレに。まったく風情のない町です。（和美）

◆勤務している中学校の図書室に、千種創一の歌集『千夜曳痕』があった。一体誰が読むのだろう。生徒からのリクエストだとしたらおもしろい。（藤田）

◆割れた歯を抜くところから始まった歯の治療が終わらない。先生はブリッジと言っけれど、まさか入れ歯なのでは。やだ。（滝田）

◆銀行のポスターに「変化のない時代なんてありましたか？」と。一人一台のスマホ、一人一台のAIになっても、短歌は不滅です。（楡垣）

◆今秋の江戸川短歌大会の講師は藤原龍一郎さん。歌に個性を持たせる為に「歌わないもの（季節や家族等）を決める」「オノマトペを使わない」ようにされているそうで、いろいろな考え方があってと思った。（玉井）

◆今号の編集作業は、11月12日（水）に。沖繩の仲西正子さんが初めて本社来訪。作業終了後、一緒にランチを食べながら、みんなで語り合いました。

◆若松喜子歌集『車椅子のうた』の批評です。車椅子生活の若松さんの歌の明るさ。生きる姿勢にも敬服するばかりです。

◆今号より滝田靖子による「靖子のへなちょこ指南」が始まりました。肩の力を抜いて、作歌のヒントをやさしく。

◆第72回地中海全国大会（東京大会）のご案内も今号より掲載しています。皆様のご参加をお待ちしています。

◆二〇二六年が良い年になりますように。地中海も新しい年に消ぎ出してまいります。（久我）

●本社編集日（予定）●

1月14日（月）

2月13日（金）

3月13日（金）

4月14日（火）

＝第72回 地中海全国大会（東京大会）ご案内＝

◆日 時：令和8年（2026年）5月24日（日）～25日（月）一泊二日

◆会 場：ホテルルポール麹町（麹町会館）

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-3

TEL 03-3265-5361 Fax 03-3265-6458

◆会 費：28,000円

◆交 通：JR東京駅から1駅JR有楽町駅下車・京橋口改札を出て右折し地下鉄有楽町線に乗り換え2番ホームから3駅5分「麹町」下車・1番出口より徒歩3分

◆日 程：5月24日（日）

参加者受付	13:00～13:30（運営委員会は無し）
班別歌会	13:30～16:00（13時より入室可）
記念撮影	17:45（懇親会会場にて）
懇親会	18:00～20:00

5月25日（月）

朝食	6:30～8:30（ホテルをチェックアウト）
作品批評・表彰	9:00～10:00
休憩	10:00～10:15（コーヒープレイク）
総会	10:15～11:45
解散	12:00（朝食は各自で）

◆申 込：地中海2月号に添付された専用振込取扱票により、必要事項を記入の上3月20日（金）までに送金しお申し込みください。部屋は基本的にツインですがシングルをご希望の方はその旨をご記入ください。（別途料金が発生します。）

振替口座 00240-8-134860 「地中海全国大会・東京大会」

会計担当 大浪美雪 TEL&Fax 0436-37-6537

泉嘉穂子 TEL&Fax 03-3653-1357

◆詠 草：新作1首。住所（〒も記入）、氏名、TEL、所属支社・グループ名、A・B・C欄の別を明記する。「地中海」原稿用紙を使用のこと。

返信用封筒（長型3号封筒に110円切手を貼り自分宛の住所、氏名を明記したもの）を3月末日必着で、下記にご送付ください。

送付先 〒960-0462 福島県伊達市本町30 藤田美智子

TEL 024-583-2158 Eメール fujitams77@gmail.com

◆運 営：地中海本社関係・新樹の会（協力）

大会委員長 藤森巳行 TEL090-8301-6423

大会副委員長 磯田ひさ子 TEL03-3874-0531

同 関根和美 TEL&Fax 0480-24-3357

会計担当 大浪美雪・泉嘉穂子 TEL&Fax 上記参照

大会事務局 藤田美智子・阿藤たつる TEL024-583-2158

◆ポトナム 十月号

通巻一九四号第一〇二巻

代表 仲西健治 編集人 日高 智

*令和七年ポトナム全国大会

六月に京都で開催された全国大会の報告

記事。分科会報告や選者賞、互選賞、講演
要旨などが載る。

【選者賞より】

・佐保姫は春の霞を織るころや梅の蕾のぼ
つと膨らむ 坂本 容子

【互選賞より】

・いつしに自分らしさの歯にいろいまひ
とたびの羽化を待ちつつ 日高 智

【講演要旨】

「今、短歌に何が起きているのか」と題
した吉川宏志の講演の要旨。「今、どのような歌が作られているのか、
それをどのように読めばよいのか」につい
て、岡本真帆や木下龍也、久永草太などの
作品を挙げながら解説している。「人を傷つけない快さを共有する」傾向
があるとして次の歌。・祝うのか祝われたのか花束を抱えた人と
すれ違う駅 岡本 真帆『明るい花束』
・風にだけ読める宛名が花びらに書かれて
あってあなたへ届く 木下 龍也

『オール・アラウンド・ユー』

『「あなた」にもいつか誰かからの好意
はもたらされるはずだ、という祈りが込め
られている』と読み、「その祈りに触れた
くて、木下さんの歌を読む読者がいるので
はないか」と言う。現代短歌が多様化している今、「理解で
きないものや好まないものを排除するより、
自分が良いと思う歌を見つけて、積極的に
評価していくほうが生産的」と述べ、「思
慮深く繊細な批評眼をもつ〈歌人〉が、少最近の
歌誌より

ポトナム

冬 雷

(藤田)

数でも存在し続けることが大切である」と
結んでいる。

◆冬雷 十月号 第六十四巻 通巻七六四号

編集発行人 大山 敏夫

*『比喩のコレクション1000』紹介

「短歌コレクションシリーズ」の「比喩」
をテーマにした一冊を、桜井美保子が紹介
する。集められた作品の一部を挙げる。

◇直喩

・五線紙にのりさうだなど聞いてゐる遠い
電話に弾むきみの声 小野 茂樹

◇隠喩(暗喩)

・筆筒ひらき着物の形見分けをせりどの色
もどの色も祖母なり 梶原さい子◇提喩(上位概念を下位概念で、または下
位概念を上位概念で表す技法)・はろばろと打ち寄せられし韓国語 静間
の浜に目を浴びてゐる 弘井 文子「韓国語」が提喩。「韓国から日本にた
どり着いた海洋ゴミ」を表す。

◇活喩(いわゆる擬人法)

・みづみづと雑草どもは叫びをり。偶の小
雨に大口開けて 松本 廣志

ほかに「転喩」「換喩」などの例も挙げる。

*玉城洋子歌集『炎昼』を読む

第八歌集を小林芳枝が読んでいます。

・座り込む私の背後は爆薬庫オスブレイブ
ロペラ上げて降り来る「座り込みをしている自分に向かってく
るように降下するオスブレイブを爆薬庫を背
にして見つめている。オスブレイブを含めて
訓練機墜落の恐怖は常にある。」・「普天間」を巡る日頭痛む目を庭に移せ
ば ランタナの満つ「花に癒されているのかと思っただけれど
そうではないかもしれない。ランタナには
七変化という名があり、侵略種とされてい
るようだ。」